

<http://www.nlit.go.jp/jidosha/a> 転防止・社内安全教育に対する  
nzen/01asv/esc\_30.html 支援  
▽運行管理の高度化・過労運 <http://www.nlit.go.jp/jidosha/a>

<http://www.nlit.go.jp/jidosha/a>  
nzen/subcontents/jikoboushiht  
ml

## Fit協運営委員会／総会

### 今期EDIサーバーをクラウド化

#### 貨物追跡の機能拡充も検討を開始

Fitシステム協議会の実務運営機関である運営委員会(塚本浩委員長・札幌通運)は7月27日に総会を開き、2017年度の事業報告と決算、および18年度の事業計画と予算を承認した。役員については副委員長の小池薫氏(岡山県貨物運送)が退任し、田島晴信氏(久留米運送)を新任した。

軽減、IoTを用いた人の管理やデータの取得など、様々な技術が運用され効果を発揮している。Fitシステムも会員各社の日々の業務の一端を担っており、これからの運用形態や新機能について検討したい」と述べた。

冒頭、塚本委員長が挨拶し「物流業界におけるITを駆使した業務効率化の動きは加速しており、AIによる完全自動運転技術やRPAによる事務作業

17年度事業では、今年3月にFitシステムのEDIサーバーの稼働時間を「6時～24時」から「5時～翌1時」へと拡張。合わせて、FTPによる送受信に対して更新頻度を従来の1時間毎から30分毎に見直す実験も行い、良好な結果を得た。また、持出や配達情報データ以外にも中継渡しデータの活用を積極的に行うなど、会員各社のシステム運用利便性を高めるため日々のシステム改善を図ってきた。

総会後には、パナソニックシステムソリューションズジャパンが、同社が展開する最新の物流システムソリューションやスマホハンディ端末機について講演した。

続いて開かれた懇親会ではFitシステム協議会の新田謙一会長(トナミ運輸)が「ITによる効率化は働き方改革の一助でもあり、皆さんの協力を得ながら会員企業の発展に尽力していきたい」と挨拶した。



総会の様子

その上で、18年度は17年度に先延ばししたEDIサーバーのリリースを実施。現行はトナミ運輸のコンピューターセンター内に自前のハウジングサーバーを保有して運用しているが、

物流関連の映像制作は業界実績ナンバー1の当社まで!!

[cargo@cargo-news.co.jp](mailto:cargo@cargo-news.co.jp)